

(令和2年度)
学校自己評価書

園番号	園名
628	西大寺北幼稚園

628西大寺北幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価		評価の観点・理由	課題及び改善方策		
I 教育 活動 に 関 す る も の	(1) 教育目標・教育計画	① 教育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 西大寺北幼稚園教育ビジョンを作成し、職員間で教育目標「豊かに学び、自ら考え、行動する子どもを育成する」を共通理解すると共に、保護者への周知と伝達を行う。 保護者アンケート実施。自己評価及び外部評価の実施と結果の公表。 新型コロナウイルス感染症拡大防のため、4月5月の臨時休業を踏まえ、教育計画を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 園教育目標について、学級懇談会や評議員会等で知らせたり掲示したりし、園の教育方針や取組等について理解を求める。 保護者アンケートによる園評価や行事参観の感想で高い評価を得た。 地域の人材を活かし教育効果を高めることができた。 臨時休業中、家庭へ連絡や幼児が遊べる教材を届けた。6月から園生活がスムーズにスタートできた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育目標や教育方針の理解については、保護者アンケートによる評価である。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて100%の評価を得た。 園行事において、保護者は園児の成長を感じ、高い評価を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策で制限されることがあったが、職員間で話し合いを重ね、工夫して今後も取り組んでいきたい。 園での遊びが学びにどのように繋がっていくのかということを知りやすく伝えていく工夫をする。 		
		② 教育計画の作成								
		③ 教育課程の編成								
		④ 教育活動の評価								
	(2) 教育内容・保育指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 「奈良市立こども園カリキュラム」に基づいた指導計画、保育計画の作成。 研究主題「夢中になって遊び込む子どもの育成をめざして」心が動く環境構成と援助の在り方を探り、園内研究会を実施し。カンファレンスで評価につなげる。 新しい生活様式を踏まえ、教育内容の工夫と改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画に基づいて、月のねらいを設定しクラスだよりで保育のねらいや内容について知らせる。 園内研究会を実施し、幼児理解や発達に応じた援助の在り方を探ることができた。 園研究主題に基づき環境構成や援助について職員間で話し合いを重ね、魅力ある環境づくりに努めた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期指導計画を見直し、修正を加えながら作成できたか。 保護者に対して、子どもの様子や育ちをどのように伝えることができたか。ホームページは、効果的であったかを検証した。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育効果を高めるために、教材研究や積極的な研修参加に努める。 園内研究会や研修会を計画的、定期的に実施、保育の実践力を高める指導を行う。 教育活動について保護者・地域への啓発に努める。 		
		② 保育内容の精選								
		③ 指導方法の工夫改善								
		④ 評価								
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の方々の協力による園行事の実施。 年間を見通した行事計画の実施方法と課題についての協議を行う。 感染症対策を行いながら、行事の精選と内容や方法を探り、安心・安全に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事が子どもたちにとって有意義で充実した活動となるように指導計画を立案、実践に取り組んだ。 保護者には、行事の意義を伝えて参加を促したり、共に子どもの成長を喜び合ったりすることができた。 職員間で話し合いを重ね、感染対策を講じて園行事を実施した。保護者も理解を示し、成長を喜んで頂けた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの結果から100%近くの子どもが行事を楽しみにしている。 職員間で行事計画を立案、実施し、次に繋げるため反省評価を行う。 コロナ禍で実施できない行事があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事への取組では、子ども達の意欲や取組の課程を保護者に伝えていきたい。子どもが主体的に取り組めるように保育内容を工夫し積み重ねていく。 感染対策を行いながら、行事の在り方を検討する。 		
		② 行事内容の精選								
(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中でお互いに尊重し合い、支え合うための正しいものの見方や考え方ができる素地を培う。 発達段階に沿った教材の活用、自尊感情が育まれる活動、友達と遊ぶことが楽しいと感じられるような保育を創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児の実態や生活背景を把握し、子どもの願いや思いを受け止めると共に、日々の生活の中で生じた問題や課題に対して職員間で問題解決できるように取り組んだ。 担任一人で抱え込むことなく、情報交換しながら連携した対応ができた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で起こる問題について連携しながら取り組めたか。 職員間で情報交換しながら連携して問題に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の人権感覚を高める。人権教育は心を育てる教育であり、個々の幼児をよく見ていくことが大切である。指導が必要な場合は、問題解決に向けて迅速に対応する。 			
	② 保育内容の精選									
	③ 指導方法の工夫改善									
(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な子どもの状況を把握し、職員間で共通理解し指導体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で初期対応に心掛け、報告・連絡・相談等、連携しながら取り組むように心がけた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活や活動において一人一人の子どもの実態把握や観察、思いに寄り添った関わりができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係を築くとともに、職員間で情報を共有する。 			
	② 教育相談・幼児理解									
	③ 家庭との連携									
	④ 関係諸機関との連携									
	⑤ いじめ・児童虐待問題について	<ul style="list-style-type: none"> 対処方針や指導計画が明確である 日頃より実態把握・早期発見に努めている 各学級の状況を園組織として共有できている 保護者や地域と連携できている 組織的に迅速に対応する体制が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で虐待やいじめに繋がるような事象がないか確認し、少しでも気になる事がある場合は、情報交換することを習慣化するようにした。 小学校や関係機関等で実態や課題について協議したり、保護者との連携を密にする。また、保護者からの情報については、迅速な対応に努めた。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活や活動において、一人一人の子どもの実態把握や観察、思いに寄り添ったかかわりができていたか。 実態把握や情報確認を迅速に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の生活背景や実態をよく把握するためにより多くの目で子どもに様子、配慮が必要な家庭にたいしては組織的(小学校・専門機関)に対応する。 教職員のいじめや虐待を見抜く力量を高めていく。 保護者との信頼関係を築くと共に職員間で情報の共有を徹底させる。 			
(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援コーディネーターの情報を共有し、個別の指導計画・支援計画を作成し、適切な支援の在り方を探る。 専門機関、関係機関と定期的に連携し、保護者の思いにも寄り添う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育観察を受け、支援の仕方や活動への取り組み方について話し合い、個々の支援について共通理解をすることができた。 個々に応じた指導については、家庭と連携を密にし、目標やめあてを共有しながら進めるようにする。 視覚を通した環境を工夫したり、適切な支援の在り方について改善を行った。 	A				A	<ul style="list-style-type: none"> 担任と特別支援教育支援員とが連携して課題を共有し、保護者の思いを聞きながら必要な支援を行い、取り組めたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援コーディネーターや関係機関から、個別の指導計画・支援計画の書き方や支援の方法を学ぶことができた。 支援を要する幼児が複数いるため、支援体制を構築する。
	② 個々に応じた特別支援教育の内容									
	③ 指導方法の工夫改善									
	④ 家庭との連携									
	⑤ 関係機関との連携									

(令和2年度)
学校自己評価書

園番号	園名
628	西大寺北幼稚園

628西大寺北幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 園児、保護者、教職員にとって安心・安全な園経営を目指す。 積極的な園運営を進める上で、公務分掌を分担し運営にあたる。 課題や問題点を出し合い、共に考え合う教職員関係と温かい雰囲気づくり。 職員会議を位置づけ定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 園ビジョンを示し、それに基づいて教育・保育を推進したことで、保護者に園の教育を理解してもらったことにつながった。園評価においても保護者から高い評価を得ている。 職場の温かい雰囲気づくりに努め、クラスでの課題や問題点、保育実践の悩み等を出し合い、「報告・連絡・相談」、迅速な対応等、連携して取り組むようにした。 毎週水曜日を会議・研修日に位置づけ定着したことで、円滑な園運営を進める事ができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に教育目標や園の取り組みを理解してもらえたか。安心、安全な園運営を目指し取り組んでいることを啓発できたか。 アンケート結果の評価を職員で確認し、次年度への改善点を見出す。 会議を位置づけ定着したことで、見通しを持って保育に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のチームワークづくりに努め、より良い園づくりを推進していく。 園評価の項目を職員で話し合い、評価に基づいて対策を検討する。 職員が園運営にかかわっているという意識を高める。
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
	(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園内研究会を実施し、個々の保育課題を見出した。保育実践についてカンファレンスをしたりする等保育実践力を高めるための協議を行う。 公開保育や研修会等への参加体制を整える。 職員会議を位置づけ、定着する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月案、週案を立て、見通しをもった保育実践を行う。また、園内研究会を実施し、保育の振り返りを行ったことで課題が明確になったり、環境の構成や援助のあり方についても協議をすることができた。 会議を位置づけ、定着したことで、見通しを追って保育に取り組むことができた。 オンライン研修に参加し、資質向上に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 園内研究会や他園の公開保育への参加が、個々の保育士の実践力を高めることに繋がった。 研修会での学びが職員間で共有することができたか。 オンラインでの研修は、効果的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員数が少ないが、園外の研修会に参加する体制がとり保育者の力量や指導力を高めるために、計画的・継続的に学び合える研修体制を整える。 園内研修を充実させる。 一人一人が向上心を持って積極的に研修会に参加する。
		② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施					
		③ 園外の研修への積極的参加					
		④ 園外研修内容の報告や伝達					
		⑤ 研修成果の普及					
	(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアルに基づき、安全のための基礎的な知識の理解と安全に行動できる能力や態度を培うため保育計画の立案。 非常時の対応と危機管理体制への意識を高める。 家庭や地域との連携を強化する。 新型コロナウイルス感染者が出た場合の対応について職員間で共通理解をしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画に基づいて避難訓練(火災・地震・不審者)を実施したり、保護者にも訓練に参加してもらい、引渡し訓練を実施した。いろいろな体験を積み重ねる中で、子どもたちは、どのような行動をとればよいか、自分の命を守るという意識も高まってきた。 感染症対策について職員・保護者に周知徹底し、感染対策に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理マニュアルに添って、非常時、緊急時の対応が迅速にできたか。 指導計画、保育計画に応じて安全指導が実践できたか。 家庭との連携についてどのような工夫をしたか。 感染予防と感染拡大防止に関する意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や緊急時の対応についていろいろな方法やパターンを変える等工夫しながら取組む。 保護者との連携を深めながら、訓練への参加の機会を増やし、防災や安全に関する意識を高めていくようにする。
		② 防災計画の立案					
		③ 危機管理体制の整備					
		④ 安全指導の工夫改善					
		⑤ 家庭との連携					
		⑥ 関係機関との連携					
	(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 朝の視診や健康観察カードを活用し、園児一人一人の健康状態の把握に努める。 保育総務課、小学校、園医等と連携し、迅速適正な対応を行う。 昼食時における感染症対策を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の欠席状況から感染症の広がりを予想する。 子どもの健康観察を行い、手洗いうがいの励行、換気等職員間で感染予防について共通理解し、日々の衛生指導、衛生管理に努めた。 家庭における健康管理については、健康観察カード、配布物で協力を求め啓発に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で健康管理が徹底されているか。 感染症対策に取り組んだ。 「子どもの健康管理に対する指導が適切に行われていると思うか」については100%の肯定的評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策や予防対策については、保育総務課や関係機関と連携して進める。 保健衛生への関心を高める啓発活動を充実させ保護者との連携を深める。
		② 心のケアや健康相談の体制の整備					
③ 健康観察、健康管理能力の育成							
④ 関係機関との連携							
⑤ 昼食の衛生管理							
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 休業期間中は、園の様子をホームページで発信する。 園だより、クラスだよりの発行や保育の様子をホームページで発信する。 地域コーディネーターやボランティアの方々と連携を図り、園の教育への協力、支援を得る。 年2回の評議員会の実施。 コロナ禍の中、地域・小学校との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を講じ、保育参観で子どもの様子や育ちを見てもらう機会を設けた。 小学校との連携はできなかったが、情報共有に努めた。 学校評議員会を開催し、園に対するアドバイスや評価をいただいた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを通して、園の様子や情報を発信した。 学校評議員会を開催し、子どもの様子や園運営について説明したので。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用し、家庭・地域へ発信を高める。 学校評議員会での意見を参考に、改善やより良い園運営を探っていく。 	
	② 園(保育)公開						
	③ 小学校との接続・連携						
	④ こ幼保との連携						
	⑤ P T Aの活性化						
	⑥ 地域教育協議会との連携						
	⑦ 学校関係者評価の実施						
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 安心で安全な園づくりのための、環境整備を推進する。 施設や設備の点検と管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回、子ども安全の日で全職員で園内の施設や遊具の点検を行うようにした。危険箇所を把握すると共に園で補修できることには取組み、園の整備や安全管理に努めた。 休業期間中、アーチづくりや、花壇整備など園庭の環境整備をした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園内清掃、園内整備、保育環境等の改善に取り組むことができたか。事故の未然防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に安全面への配慮や点検を怠らないようにし、気づいたことは報告し合い改善策を講じる。 	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> 公文書の適切な処理と保管。 個人情報に関わるデータ、文章の管理を徹底する。 情報管理マニュアルに基づき、周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの個人情報や名簿、指導要録などに関して、適正かつ慎重に取り扱うように管理を徹底した。公文書については、必要に応じて回覧し、整理整頓し保管するようになった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報や公文書の保管、取り扱いが徹底されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護についての意識を常にもち、管理についての点検や確認を定期的に行うようにする。PTA活動における情報管理についても体制を整える。 	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						